

熊本県臨床細胞学会 令和8年熊本地震被害調査（回答）

調査対象：熊本県臨床細胞学会会員

調査期間：2026年8月11日（水）から8月14日（金）

調査方法：インターネット上のアンケートフォームによる（Google Form）

【被害状況調査と回答】

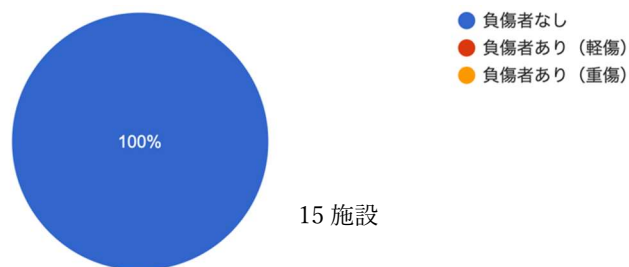
（質問1）回答者 17名

（質問2）所属施設 15施設

・15施設17名から回答があった

（質問3）病理細胞診部門におけるスタッフの負傷等について

・回答された施設に負傷したスタッフはいなかった

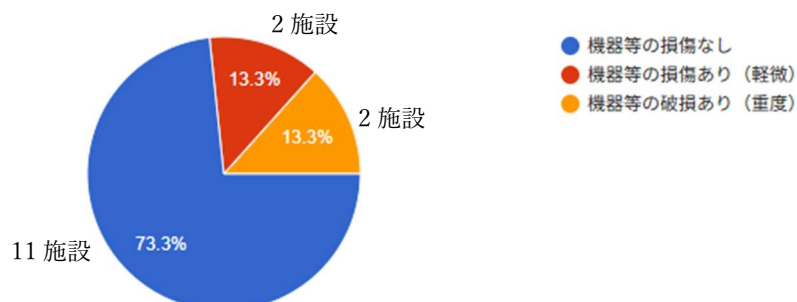


（質問4）質問3で負傷者ありと回答された施設では、具体的にお書きください（部位や人数など）

・質問3で負傷者がいないため回答はなし

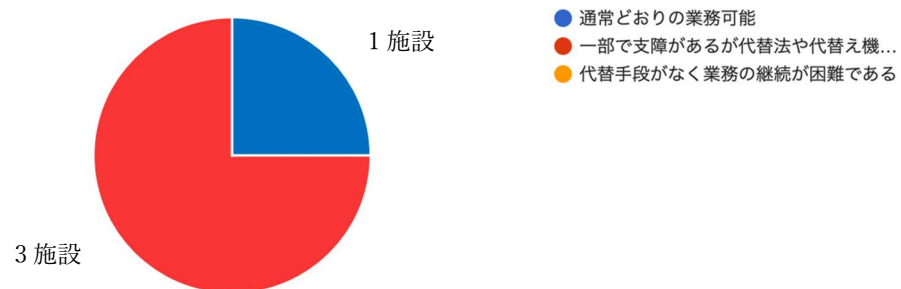
（質問5）病理細胞診部門における機器等の破損について

・回答された施設中、2施設（熊本労災病院、熊本総合病院）で重度の機器等の損傷と、2施設（片岡レディースクリニック、熊本中央病院）で軽度の損傷あり



(質問 6) 質問 5 で機器等の損傷・破損ありと回答された施設に、業務への影響についてお聞きします

・質問 5 で機器等の損傷ありとされた 4 施設中、1 施設（熊本中央病院）で「通常どおりの業務可能」とされ、3 施設（片岡レディースクリニック、熊本労災病院、熊本総合病院）で「一部で支障があるが代替法や代替え機で対応可能」と回答



(質問 7) 質問 6 で業務の継続が困難であるとされた施設で、具体的な内容をお聞かせください

・質問 6 の回答に業務の継続困難とされた施設がないため回答なし

【地震被害調査のまとめ・被災地域の施設状況】

今回の被災調査の回答のなかでは、負傷者がなかった事が最も重要な報告です。機器等の被害状況は県内全体としては多くはなく、機器等に被害の報告があった地域は八代市 3 施設と熊本市 1 施設であり、県央から県南にかけて報告がありました。特に県南地域では施設全体として大きな被害があり、病院機能として制限された状況で、復旧対応と同時に災害拠点病院として多くの被災者の受け入れをおこなった施設もありました。機器等の損傷が重度とされた施設では、大きな揺れにより病理部門にある複数の機器が転落や横転し使用不可となりましたが、メーカーやディーラーの早急な代替え機の手配や修理により、通常診療に対応可能な状態となりつつあるようです。そして、ヒトの支援では日本臨床検査技師会の災害支援事業として、被害が大きい基幹施設（熊本労災病院、熊本総合病院、八代北部地域医療センター）に多くの臨床検査技師が派遣されております。熊本赤十字病院をはじめ全国各地から専門スキルをもった技師が、病理部門を含めた検査支援のため被災施設で活動をおこない復旧へ向けて多くの協力がありました。また、ニュース報道によりますと、宇城市の熊本南病院（今回の被害調査への回答は含まれない）では、建物自体の損傷が激しいため入院患者を転院させて、診療を一時中断しているとの事です。

今回の調査資料や情報が、熊本県臨床細胞学会の会員相互支援の一助となり、皆さまの早期の震災復興となりますことを祈念いたします。

(文責) 震災被害調査担当 井上博幸